

災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画

桜島研究課題研究集会

日時: 2018年1月5日(金)午後2時~6時

1月6日(土)午前9時~午後1時

会場: 国民宿舎レインボー桜島 2F <http://www.rainbow-sakurajima.com/>

12分発表, 議論3分

開始時刻	終了時刻	タイトル	講演者	座長
1月5日	14:00	14:05 挨拶	井口正人	中道治久
	14:05	14:20 無人ヘリ(次世代機)による観測テスト	大湊隆雄	
	14:20	14:35 桜島火山噴火直前に見られる特徴的な短周期・絶対重力変化	大久保修平	
	14:35	14:50 桜島火山における精密水準測量(2017年11月)	山本圭吾	
	14:50	15:05 鹿児島湾奥部における繰り返し海底地震観測	八木原 寛	
	15:05	15:20 継続的反复探査について	筒井智樹	
	15:20	15:35 桜島火山におけるマグマ活動発展過程の研究—雑微動解析による構造変化—	大見士朗	
	15:35	15:50 雑微動の相互相関関数を用いた地震波散乱特性の時空間変化イメージング—2015年8月15日桜島ダイク貫入イベントの解析	廣瀬 郁	
		休憩		
	16:00	16:15 桜島および始良カルデラ周辺の地震活動	為栗 健	山本圭吾
	16:15	16:30 1914年桜島大正噴火時地震の震源位置の再評価	緒方誠	
	16:30	16:45 桜島における1968年5月29日と2015年8月15日の地震活動比較	篠原英一郎	
	16:45	17:00 2015年8月のマグマ貫入時にみられた圧力源近傍の非同期変動成分と地震活動	長山泰淳	
	17:00	17:15 桜島アレイ観測データ解析	藤田英輔	
	17:15	17:30 2017年の桜島南岳爆発に前後する傾斜ひずみ変化	堀田耕平	
	17:30	17:45 桜島火山の噴火に伴う傾斜変動の特徴(2)	西村太志	
	17:45	18:00 高峠における空振アレイ観測	市原美恵	
	18:30	懇親会 会費5000円		
1月6日	9:00	9:15 2017年8月22日~23日の溶岩噴泉イベントについて	井口正人	為栗 健
	9:15	9:30 桜島の比抵抗構造時間変化と可視映像中の爆発バリエーションについて	相澤広記	
	9:30	9:45 火山灰水溶性成分の変化からみた、噴火様式の変化~桜島昭和火口と南岳	野上健治	
	9:45	10:00 噴出物からみた桜島火山2017年噴火の推移	松本恵子	
	10:00	10:15 桜島における火山灰粒子径と測色値の関係に基づくモニタリング	嶋野岳人	
	10:15	10:30 灰噴火の灰はなぜ黒いか?	中村美千彦	
	10:30	10:45 天平宝治噴火(AD764~766)の岩石学—2015年のマグマ貫入プロセスの理解に向けて	中川光弘	
	10:45	11:00 大正噴火軽石噴火ステージの噴火推移の再検討	下司信夫	
		休憩		
	11:15	11:30 2波長比を基準に見た桜島火山近傍LIDAR観測による火山噴出物の散乱特性	日向洋	味喜大介
	11:30	11:45 南九州の火山における小型Xバンド偏波レーダーの展開と噴火観測事例と地震動との比較	中道治久	
	11:45	12:00 Towards LES simulations of Sakurajima eruptions	Alex Poulidis	
	12:00	12:15 気象レーダーによる桜島の噴煙観測結果について	佐藤英一	
	12:15	12:30 気象レーダによる降灰量分布の推定—2013年8月18日桜島噴火事例—	真木雅之	
	12:30	12:45 【特別講演】深層学習による桜島噴火予測	村田剛志	